

【2019年第6号】

大湾区緊密協力モデルの構築 広東省マカオ合作漢方薬科技産業園

張 小萍 CHEUNG SIU PING, PEGGY

アジア法人営業統括部
アドバイザー室

T +852-2821-3782

E PEGGY_SP_CHEUNG@HK.MUFG.JP

2019年5月20日

株式会社 三菱UFJ銀行
MUFG Bank, Ltd.

A member of MUFG, a global financial group

2011年3月、広東省人民政府とマカオ政府は、広東省(以下「粵」)・マカオ(以下「澳」)間の緊密協力と相互発展により、アジア太平洋地域で最も競争力のある都市郡を構築することを目指し、「粵澳協力枠組み協定」(以下、枠組み)に調印した。また、当該枠組みの方向性に基づき、粵澳両政府は、2011年より毎年具体的な作業要点を策定し、観光レジャー・文化・漢方薬産業、インフラや公共サービスにおける地域間協力に取り組んできた。その一環として、2018年3月、粵澳両政府による共同開発の初プロジェクトである「粵澳合作漢方薬科技産業園」(以下、漢方薬産業園)が開園した。本稿では漢方薬産業園をピックアップし、その発展状況について簡単に紹介したい。

1. 背景

マカオは、広東・香港・マカオグレーターベイエリア(粵港澳大湾区、以下「大湾区」)の4大中心都市の1つであるが、面積や人口規模は大湾区の中で最も小さい。2011年に調印された協力枠組みや2019年2月に公表された「大湾区発展規画綱要」¹においては、マカオの適度な経済多元発展を推進することが取り挙げられた。マカオの主要産業であるカジノ以外の産業を多様化するためには、従来のマカオ自体の人材や制度等の優位性を活かすだけでなく、広東省と緊密な協力を取りつつ、広東省の土地資源や生産能力を活用することが非常に重要となる。マカオに隣接する珠海横琴地区は、2011年から一貫して、粵澳両地の主要協力プラットフォームとして位置付けられており、両政府は横琴で5km²の「粵澳合作産業園」を共同開発し、主に漢方薬、クリエイティブ、教育、研修等の産業を重点的に投資を誘致している。うち、漢方薬産業園は「粵澳合作産業園」の初めてのプロジェクトであり、漢方薬・保健食品の研究開発、ポルトガル諸国や一帯一路沿線国への進出を促進することを目指している。

2. 漢方薬産業園の概要

横琴新区のインフラ整備状況

漢方薬産業園は、珠海市横琴新区西北部のハイテク区に位置する。横琴新区は、川を一本隔てて珠海市各区やマカオと向かい合っており、広東・香港・マカオ(以下、粵港澳)を繋ぐ拠点として位置付けられている。

¹ 中国国务院が2019年2月18日に公表した大湾区に関する計画の綱要である。綱要では、大湾区発展における具体的な方向性を示され、インフラ建設、イノベーション産業支援、金融政策開放、市民生活利便措置等幅広い施政方針が盛り込まれた。



図表 1: 横琴のインフラ整備状況
出所: 珠海市投資ガイドブック、漢方薬産業園区の HP より作成

区内では、粤港澳の協力と融合を支える交通インフラの整備が着々と進んでおり、大湾区各主要都市との「30 分生活圏」、「1 時間生活圏」が形成されつつある。

島である横琴にとって、大橋は主要な交通網である。特に、粤港澳を結ぶ大橋（「港珠澳大橋」）の開通は、横琴-香港間の移動を従来の 2 時間（陸路+フェリー）から 30 分と大幅に短縮した。また、2021-2022 年にかけて、「金海大橋」、「洪鶴大橋」、「香海大橋」を含む 3 本の主要大橋が開通する見込みで、横琴・香洲区から珠海西部までの移動時間が大幅に短縮される。「金海大橋」の開通により、横琴-珠海空港間の移動が約 15 分で実現できるほか、これらの橋の利用により、横琴から各都市への高速道路網活用の利便性

が高まることから、大湾区各都市への移動が更にスムーズになる。

鉄道では、珠海拱北口岸-横琴を結ぶ「広珠都市鉄道」²の延長線 1 期(図表 1:①)が 2019 年内に、横琴-珠海空港を繋ぐ延長線 2 期(図表 1:②)が 2023 年に開通予定で、横琴-金湾区、横琴-中山・江門・広州間の高速移動が可能だ。横琴からマカオまでの最短距離はわずか 200 メートルで、東部の橋でマカオと繋がっている。将来的にマカオのモノレールは横琴口岸まで伸び、横琴の「広珠都市鉄道」と繋がる予定もある。

空・海の移動では、横琴周辺 100km 範囲内に、国内・国際線が就航する空港が 5 つ、国際コンテナターミナルが 4 つある。うち、珠海空港、マカオ空港及び香港空港は 30 分圏内にあり、計画中の「深珠通道」³が開通すれば、横琴から深圳空港まで 1 時間以内で到達することが可能となる。

漢方薬産業園は、横琴の核心地に位置し、30 分以内で主要なインフラにアクセスできる。これらのインフラを活用しながら、園区は粤港澳の協力と融合を促進する役割をさらに発揮することが期待されている。

漢方薬産業園の開発状況

漢方薬産業園の計画面積は 50 万 m²で、2012 年に建設開始し、2018 年 3 月の園区本部総合ビルの竣工に伴い、正式に開園した。現在、マカオ政府と横琴新区政府の合資会社が園区を運営・管理しており、マカオの人材・資金やポルトガル語圏諸国との繋がり、珠海の土地資源を活用しながら、漢方薬の研究開発、品質認証、生産及び国際登録機構を誘致している。2019 年 3 月までに、中国製薬大手の麗珠集団(リブゾンファーマ)や康美薬業、マカオ大学・北京大学共同成立による研究院、世界的に著名な検査・認証大手であるインターテック、薬品管理・監督オフィシャル機構である広東省薬品监督管理局等の関連機構が 26 社が入居した。

² 広州、珠海及び江門を繋ぐ高速鉄道。2005 年 12 月着工し、2011 年に広州南駅-珠海北駅、広州南駅-江門新会駅間、2012 年に珠海北駅-珠海駅間が開通した

³ 深圳市と珠海市を結ぶ 24km の大橋。2010 年に提起され、2016 年に深圳市が発表した「深圳市軌道交通線網計画(2016-2030)」、2017 年に珠海市が発表した「珠海市総合交通配置計画」でも言及された。「深珠通道」が開通すれば、珠海-深圳間の移動は従来の 2~3 時間から 30 分まで大幅に短縮される



図表 2:漢方薬産業園の全体図
出所:漢方薬産業園区のHPより作成作成

また、産業園は、2015 年よりマカオ、タイ、ポルトガル、バルセロナ、モザンビーク等で国際フォーラムやトレーニングプログラムを開催し、当地の医薬研究院や学院と MOU を締結し、伝統医薬における各地域との協力基礎を築いてきた。また、「漢方薬製品海外登録サービスプラットフォーム⁴」の利点を活かし、入居企業のアフリカモザンビークにおける製品登録を支援し、販路を開拓してきた。今後、園区は園内の施設(図表 2)を活用しながら、漢方薬・保健品産業におけるイノベーションの加速、一帯一路における国際健康産業交流・貿易プラットフォームとしての構築を目指し積極的に動いていくとしている。

図表 2: 園区の主要施設

施設		概要
漢方薬・保健品 R&D・生産施設	企業開発本部ビル	<ul style="list-style-type: none"> 一棟貸で、園内重点企業の本部オフィス、研究開発施設として利用可能 2019 年 3 月時点、本部ビル 5 棟のうち、3 棟が貸出済み
	GMP 試製工場	<ul style="list-style-type: none"> 中国・EU GMP ガイドラインに沿って設置された治験薬と登録試供品生産工場
	検査・テストビル	<ul style="list-style-type: none"> Intertek と共同投資の施設で、園区の企業へ検査、認証、分析及びコンサルサービスを提供し、製品の転換や品質レベルアップを促進する
	漢方抽出施設	<ul style="list-style-type: none"> 中国・EU GMP ガイドラインに沿って設置された原料生薬エッセンス抽出工場
イノベーション 加速施設	インキュベーター	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ企業へオフィス、研究開発施設、技術・資金サポート及び孵化サービスを提供 中小型企業を対象とし、100-600 m²のスペースをレンタルする
	アクセラレーター	<ul style="list-style-type: none"> 成長型の企業へオフィス、研究開発施設、技術・資金サポート及び加速サービスを提供 フロア貸し(1,100-1,500 m²)で、一定規模のある企業を対象とする
健康産業の交流・貿易促進施設	園区本部総合ビル	<ul style="list-style-type: none"> 園区の本部ビルとして機能し、商貿施設・展示ホール、学術講演ホール、会議室や伝統医薬国際交流プラットフォームを整備 国際交流協力センター医薬品の国際登録、サービス貿易、技術協力、文化交流のサービスを提供
文化・観光 レジャー施設	医療健康ホテル	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健を中心とする施設。専門技術を活用し新たな養生体験を与える
	文化・商業通り	<ul style="list-style-type: none"> 漢方薬文化を核心とする商業通り
	漢方薬博物館	<ul style="list-style-type: none"> 漢方薬文化・健康レジャーをテーマとし、芸術と技術を融合しながら新たな展示方式で漢方薬文化を伝える博物館

3. 園区の優遇政策

漢方薬産業園は粵港澳協力プラットフォームであり、主要な出資方であるマカオ以外に、香港企業もマカオ企業と同様の優遇策を享受できる。例えば、一定条件を満たす香港・マカオ企業に対し、家賃補助⁵を与えたり、税金⁶、人材⁷等における地方優遇政策を享受できるほか、入園企業専用の奨励・補助も同時に受け取ることを可能としている。また、薬品の自主開発を促進するための設備購入や新薬登録に対し、園区は最高 1,000 万元の高額奨励を与えている。

⁴ 国家の承認で設立され、漢方薬の海外登録、海外医療システムへの導入、販売通路の開拓に向けたサービスプラットフォーム。現在全国で 2 箇所のみ(天津)

⁵ 現在の園区施設レンタル料金は 50-100 元/m²/月であるが、港澳企業に対する最高補助は 100 元/m²/月(最長 3 年間)

⁶ 横琴で勤務する香港・マカオの居住者に対しては、香港・マカオと同等の個人所得税を適用し、税の差額を全額補助する。また、「横琴産業発展指導目次」に基づき条件を満たす企業は、15%の企業所得税率を享受できる。

⁷ 一定条件を満たす人材へ、実際の貢献に基づき奨励金を支給(最高市保留部分の個人所得税の 200%を奨励)

図表 3: 園区専用の優遇策

概要	
優遇策適用対象	<ul style="list-style-type: none"> 横琴での工商、税務登記から1ヶ月以上経過し、5年以内に横琴新区から転出しないことを承諾した企業 「横琴産業発展指導目次」の規定に従い、バイオ製薬、保健食品、医療器械等医療健康領域における研究開発、試製、販売、サービスを主要業務として営業している企業、または関連管理、投資、コンサル、トレーニング等仲介サービスを提供する機構
研究開発費用の補助	<ul style="list-style-type: none"> 国内外著名高校、国家重点ラボや国家企業技術センター等の機構が設立した公共ラボ・研究成果転化機構、または国内外著名認証・検査機構に対し、最高1,000万元の設備購入補助を支給 薬品臨床前研究完成、臨床研究承認獲得企業へ研究開発費用の30%、最高100万元を奨励(一回限り) 薬品臨床試験が完成した企業へ每期実際試験費用の30%、最高150万元を支給(一回限り)
レンタル	<p>毎月50元/m²のレンタル補助を支給(補助面積は2,000m²を上回らない。最長36ヶ月補助)</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助面積が300m²を超えない場合、実際面積で計算した金額を補助する 補助面積が300m²以上の場合、「横琴で納付した社会保険人数×一人あたり補助面積⁸」で計算し補助 一定条件を満たすプロジェクト、イノベーション・スタートアップチーム、研究開発機構、イノベーション公共プラットフォーム及び香港・マカオ企業に対し、最高毎月100元/m²を補助する
税金奨励	<ul style="list-style-type: none"> 年度納税額が500万元を超える企業に対し「横琴新区本部経済促進発展弁法」に従い奨励を支給 年度納税額10万-500万元の企業に対し当年度地方財政への貢献額の90%を補助(最長3年間)
製品登録・認証奨励	<ul style="list-style-type: none"> 新薬: 国家第一類新薬証書を取得する企業へ、最高1,000万元を奨励(一回限り)。国家薬品登録分類に沿ったその他新薬証書の取得企業へ登録申請時所要費用を補助(一回限り、最高300万元を奨励) 医療機器: 創新型第3類医療機器登録証書取得企業へ、登録申請時所要費用を補助(最高300万元) 保健品: 初回の自主研究開発で保健食品の承認を獲得した企業・研究開発機構へ、承認番号あたり10万元を奨励(最高30万元/年) 国際認証: FDA、EMA、EDQM、CE登録認証を取得した新薬、保健食品、医療器械(第2類、3類)へ、登録申請につき実際に支払った費用の50%を補助(毎年最高600万元)

4. まとめ

漢方薬産業園は、粵澳協力モデルの構築手段として、国や地方政府がインフラ、園区建設、資金、政策等においてさまざまな支援を設けている。園区は漢方薬をテーマとしているが、漢方製薬・保健食品以外にもバイオ製薬、医療機器等その他健康領域関連の機構とその仲介サービス機構も入園することが可能である。現代の医療体系上、漢方薬の国際化にはまだ多くの技術障壁がある。そのため、漢方産業園区では、技術力や競争力のある国内外機構やイノベーション力の高いスタートアップチームの誘致に意欲的である。粵澳両政府の連携の力を借りながら、また、大湾区における横琴の地理的、政策的優位性を活かしながら、産業園が今後更なる発展を遂げることを期待したい。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。

Copyright 2019. MUFG Bank, Ltd. Hong Kong Branch. All rights reserved.

⁸ 商務オフィス施設: 10 平方米/人、研究開発、試製、医療サービス施設: 30 平方米/人